

対象
どなた
でも
参加可能

セキュリティ・キャンプ

フォーラム

毎年2~3月のサイバーセキュリティ月間に合わせて開催する半日程度のイベントです。セキュリティ・キャンプを修了した後の活動について発表する場や、修了生と講師等が年度を超えて交流する場を提供し、修了生の認知度向上と産業界における活躍支援のきっかけづくりとして開催しています。

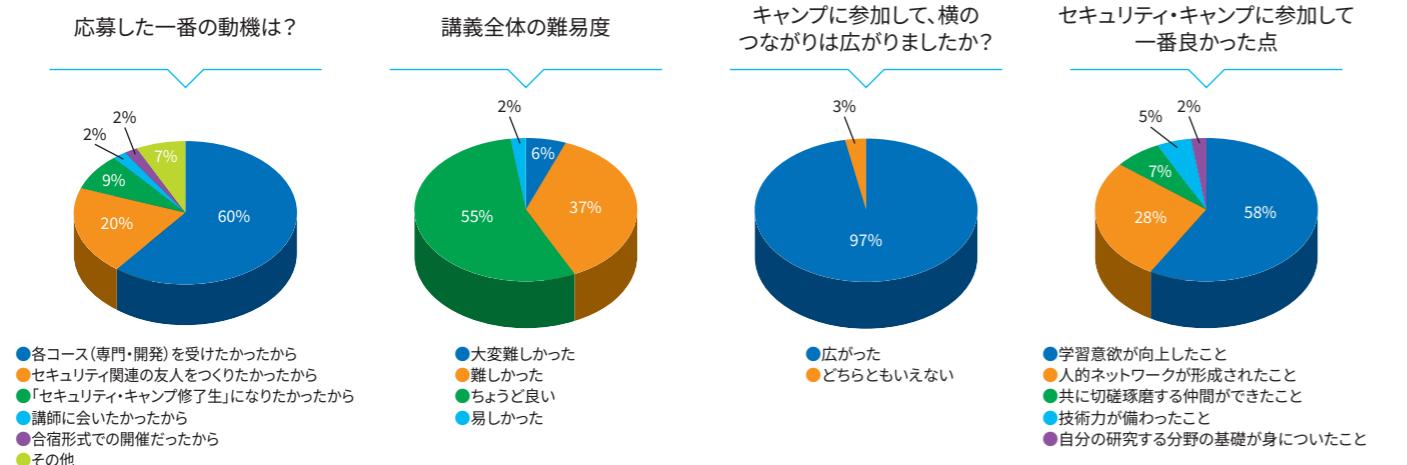
対象
どなた
でも
参加可能

セキュリティ・キャンプ

ワークショップ

セキュリティ・キャンプ修了生等の継続的な学びの機会として、全国大会などで好評だった講義内容をベースに、半日から1日程度で開催するイベントです。年に数回、IPAが企画・運営を行っています。

全国大会、ネクスト、ジュニア受講後のアンケートデータ（2025年度）



全国大会、ネクスト修了生のデータ

修了生の主な就職先（2025年11月現在）

GMO Flatt Security株式会社
GMOサイバーセキュリティ by イエラエ株式会社
LINEヤフー株式会社
NECセキュリティ株式会社
NRIセキュアテクノロジーズ株式会社
NTTセキュリティ・ジャパン株式会社
NTTドコモビジネス株式会社
PwC Japan有限責任監査法人
アクサ生命保険株式会社
一般社団法人学生自主研究推進機構
学校法人新静岡学園 静岡産業大学
株式会社bitFlyer
株式会社iVRy
株式会社LayerX

株式会社MIXI
株式会社NTTドコモ
株式会社SecDevLab
株式会社SODA
株式会社インターネットイニシアティブ
株式会社エヌ・エム・エス
株式会社オブリーム
株式会社オブリージュ
株式会社門田電工工業所
株式会社サイバーエージェント
株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメント
株式会社はてな
株式会社ファーストリテイリング
株式会社メルカリ

株式会社ゆめみ
株式会社ラック
株式会社リクルート
株式会社リチエルカセキュリティ
株式会社ルイーダ
国立大学法人信州大学
ジェイ・アール・シエンジニアリング株式会社
情報科学芸術大学院大学
将来宇宙輸送システム株式会社
ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社
デジタル庁
デロイトトーマツセイバーコンサルティング株式会社
東京海上ホールディングス株式会社
独立行政法人情報処理推進機構(IPA)

日本電気株式会社
日本ヒューレット・パッカード合同会社
日本マイクロソフト株式会社
任天堂株式会社
ピクシブ株式会社
フリー株式会社
富士ソフト株式会社
マサチューセッツ総合病院(米国)
ミクシンド株式会社
三井物産セキュアディレクション株式会社
矢崎総業株式会社

一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会

次代を担う日本発で世界に通用する若年層の情報セキュリティ人材を発掘・育成するため、産業界、教育界を結集した講師による「セキュリティ・キャンプ」を実施し、それを全国的に普及・拡大していくことを目的として2012年に設立された一般社団法人です。

お問い合わせ

IPAセキュリティ・キャンプ事務局(独立行政法人情報処理推進機構)

〒113-6591 東京都文京区本駒込二丁目28番8号文京グリーンコートセンターオフィス
iac-camp@ipa.go.jp

詳しくはwebページまで <https://www.ipa.go.jp/jinzai/security-camp/index.html>



IPA Better Life
with IT

独立行政法人情報処理推進機構／一般社団法人セキュリティ・キャンプ協議会

セキュリティ・キャンプ とは

WHAT'S SECURITY CAMP

「セキュリティ・キャンプ」は、国内の学校等に在籍する児童生徒・学生を対象に、情報セキュリティに関する高度な技術教育を実施し、次代を担う情報セキュリティ人材を発掘・育成する事業として2004年にスタートしました。

中心的なイベントである『全国大会』のほか、トップオブトップの人材を発掘・育成することを目的とする『ネクスト』、プログラムやセキュリティの原理・仕組みを重視し、基礎力をしっかりと養う『ジュニア』も実施しています。

2025年には、セキュリティ以外の分野を専門とする学生を対象に、セキュリティの考え方や視点に触れる機会を提供し、新しいセキュリティ人材層の発掘・育成を目的とする『コネクト』も開始しました。

また、より多くのみなさんが参加できる機会として、全国各地で「キャンプミニ」等も開催しています。

「セキュリティ・キャンプ」はこれまで将来有望な人材を数多く輩出しており、情報セキュリティの業界にとどまらず各方面から高度なIT人材教育の有益なイベントとして認知されています。

※受講するためには応募課題に回答し、選考を通過する必要があります。

対象 22歳 以下の生徒・学生

セキュリティ・キャンプ 全国大会

受講費／交通費／宿泊費 無料

情報セキュリティに関する高度な技術教育と倫理教育を、13歳以上22歳以下の生徒・学生に対して実施するもので、セキュリティ・キャンプ事業の中心的な行事です。2004年から毎年開催し、これまでに数多くの修了生を輩出しています。

講義概要

専門コース	一貫したテーマについて基礎から高度な内容まで無理なく学習できるカリキュラムで構成するコース。テーマを深く掘り下げる体験を通じて探求心を養い“技術の極め方”を習得します。
開発コース	講師が提示したテーマから自分が取り組むテーマを受講者1人1人が選択し、講師の指導を受けつつ、設計・実装・検証を繰り返すゼミ形式のコースです。

対象 25歳 以下の生徒・学生

セキュリティ・キャンプ ネクスト

受講費／交通費／宿泊費 無料

全国大会修了生の次のステップとして、さらに高度な教育を行うための特別プログラムで、全国大会と併催しています。13歳以上25歳以下の生徒・学生に対して実施しており、情報セキュリティの多様なシーンに対応し、新たな価値を生み出していけるトップオブトップの人材、フルスタック・エンジニアと呼ばれる人材を発掘・育成することを目的とします。全国大会修了生でなくても、修了生のレベルに匹敵する、もしくはそれ以上のスキルを有していれば大歓迎です。

講義概要

セキュリティ・キャンプ ネクストのテーマは「基盤技術の魅力」です。「〇〇を支える技術」と呼べるものを基盤技術と定義し、「社会基盤」「サービス基盤」「アプリケーション基盤」「開発者基盤」「物理基盤」「その他」の6つの分野に分類し講義を設計しています。

対象 15歳 以下の児童・生徒

セキュリティ・キャンプ ジュニア

受講費／交通費／宿泊費 無料

ジュニアの最大の特徴は、独自のカリキュラムにあります。小中学生のうちにプログラミングやセキュリティの基礎をしっかりと学ぶことで、今後の学習効率が大幅に向かうと考えています。また、「開発の時間」を重視し、カリキュラムの多くを各個人の制作に充てています。参加者一人ひとりが自分でテーマを決め、最終日までに一つのプログラムを形にすることが目標です。

講義概要

座学ではプログラムやセキュリティの原理・仕組みを重視し、基礎力をしっかりと養う講義を行います。また、ソフトウェアだけでなく、ハードウェアの視点からも学ぶことで、より幅広い理解が得られます。

対象 25~30歳 以下の学生・大学院生

セキュリティ・キャンプ コネクト

受講費／交通費／宿泊費 無料

セキュリティ以外を専門とする学生を対象に、セキュリティの考え方や視点に触れる機会を提供する合宿形式のイベントです。異なる分野のバックグラウンドを持つ受講生が、セキュリティ的な視点を身につけることで、従来の枠にとらわれない新しいセキュリティ人材層の発掘・育成を行います。

講義概要（実施内容の一例）

法律 × セキュリティ	サイバーインシデント演習やサイバー関連の法律相談/交渉のロールプレイ、リサーチなど、法律専門家からの助言を得ながら取り組みます。
AI × セキュリティ	脆弱なLLMアプリケーションへのプロンプト・インジェクション攻撃を再現し、そのメカニズムや検知・防御の仕組みを実装レベルで理解します。

法律 ×セキュリティ **AI** ×セキュリティ

※コースごとに年齢上限・参加要件が異なります。
詳細はWEBページをご覧ください。

対象 25歳 以下の児童・生徒・ 学生・大学院生

セキュリティ・キャンプ ミミ

受講費 無料

全国における情報セキュリティ人材の早期発見と育成を目的に、各地で演習を交えた専門講座を実施しています。受講するためには応募課題に回答し、選考を通過する必要があります。なお、一部地域では一般の皆様に対する情報セキュリティ啓発を目的とする公開講座を併催しています。

※これまでの開催地域の一例です

